

平成 29 年度 熊本市歯科保健推進協議会 議事録要旨

日時：平成 29 年 8 月 24 日（木）14 時～16 時

場所：ウェルパル 1 階大会議室

出席：天野富子、太田和俊、古閑 進、衛藤 靖、坂本直美、澤田恵子、高松尚史
竹田和子、土屋裕子、中富玲子、中山秀樹、鍋島幸一、西 恵美、西堀拓也
原 満喜子、前田篤志、松本知樹、宮本格尚（敬称略・五十音順 18 名）

事務局：健康福祉局総括審議員、保健衛生部長、健康づくり推進課、健康福祉政策課
医療政策課、子ども支援課、保育幼稚園課、子ども発達支援センター
国保年金課、高齢介護福祉課、障がい保健福祉課、健康教育課、生涯学習課
各区保健子ども課

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 健康福祉局長挨拶
- 4 会長及び副会長選出
- 5 会長及び副会長挨拶
- 6 議題

会長及び副会長挨拶

（会長：宮本委員）今年度の政府の「骨太の方針」に初めて「口腔の健康は全身の健康につながることから生涯を通じた歯科健診の充実、入院患者や要介護者に対する口腔機能管理の推進など歯科保健医療の充実について記載された。」と歯科口腔医療の充実が盛り込まれました。

昨年「歯っぴー39(サンキュー)チャレンジ」として乳幼児期のむし歯予防に力を入れているが少子化に伴い国の宝である子どもたちの口腔内の健康を守ることは、ひいては全身の健康を守ることとなりますので、全国的に問題になっている医療費の削減にもつながるためこの場でしっかり協議し現場にフィードバックしていきたいと思っております。

（副会長：中山委員）熊本市の子どもが非常にむし歯率が高いということでさまざまな取り組みがなされているということだが、生まれ育った故郷である熊本市がよりよく健康である、そういった子どもたちがしっかり活躍してくれることを切に望んでいます。

議題 1 熊本市歯科保健施策の実施状況について

（事務局）— 議題 1、資料 1 により説明 —

議題 2 平成 28 年度熊本市歯科保健推進協議会における検討委員会の報告及び「歯っぴー39チャレンジ」の取り組みについて

（事務局）— 議題 2、資料 2.3 により説明 —

（議長：歯科医師会宮本会長）

事務局の説明を受けまして、各団体からのご意見をお願いします。

（歯科医師会：高松委員）

無料歯科健診カードについて、受診者が少ない状況であるが今後も推進したい。乳幼

児期はどうしても小児科に診察される機会が多く、歯が痛くない状況で歯科受診に繋がっていかない。歯に痛みがない中で、歯科受診される方は、健康に関心がとても高い方と思われますので、今後とも小児科の先生方から啓発いただくことをお願いします。

(医師会:前田委員)

小児科医を対象としたむし歯予防研修会を開催しましたが、熊本市の子どものむし歯が多い事を知らないご存じない方が多くインパクトのある内容でした。今後は、乳児健診を受診された方に啓発される状況になると思います。また、小児科や小児科を標榜する内科に無料歯科健診カードが設置されましたので、今後効果が出てくることを期待しています。産婦人科にて妊婦検診の際に歯科受診を推進していきたいと思います。まだ始まったばかりだという感じがします。

(薬剤師会:古閑委員)

薬剤師会に所属している薬局にて配布しているところです。特に小児科に近い薬局では、チャンスがあるので積極的に推進したいと思います。今後は、調剤薬局との表現ではなく薬剤師会加入の薬局との表現をお願いします。

(保育園連盟:坂本委員)

園長会にて、熊本市のむし歯の状況について認識を一致したところです。保育園連盟としては、フッ化物洗口がもう少し推進されるように、行政から補助をいただけたら有難いです。

(幼稚園協会:衛藤委員)

会としてはこれからもこの運動を支持することで聞いており、私の園でも取り組んでいます。

(歯科衛生士会:天野委員)

今後も、衛生士会としては、早期の乳幼児のうちから啓発していく必要性や要望が高いと感じている。研修会や講習会を開催して地域の方々と歯科保健推進に取り組みたいと思います。

(食生活改善推進員協議会:原委員)

子育てサークルや保育園の親子クッキングのなかで、むし歯予防の話しをしておりますが、昨年までは、食材費を市からいただいていたが、今年度からは、保育園が、食材費を負担することになり、現時点で、希望される園がありません。料理教室する前に、早寝早起き朝ごはんやしっかり噛んで食べましょうなど啓発をしておりますが、現時点では、活動が少ない状況です。資金面で援助いただければ有難いです。

(8020 健康づくりの会:土屋委員)

今年度も、夏祭り、フッ化物洗口等、歯科衛生士と一緒に啓発活動を行っております。無料歯科健診カードが利用されていないようだが、どうしてなのかお尋ねします。

(事務局)

区において幼児健診(1歳6か月児・3歳児)において説明しながら配布しておりますが、かかりつけ医による口腔の大切さについて伝わっていないようなので、さらにしっかり伝えていく予定です。

(8020 健康づくりの会:土屋委員)

18000枚を配布して、56枚の利用しかないのであれば、配布方法や置き場所等を工夫してはどうでしょうか。

(議長: 歯科医師会宮本会長)

医科についても受診率が低いと聞いている。歯科医師会では、毎年6月に無料歯科健診を毎年おこなっていますが利用がほぼ0で、歯科健診に対して敷居が高いのかなと思っております。

(歯科医師会:高松委員)

Happy life カード(無料歯科健診カード)は、もともと歯科健診を受診するために作成されたものではなくて、行政が歯科の啓発を目的に作成したものに、市歯科医師会が無料で歯科健診ができるように協力したものです。主な目的は、市民に広く配布することで、歯科に関心がない方に少しでも理解してもらえればいい。少なくとも悪いことではない。配布は 2,3 年続くことが大切だと思っており、本来歯科に行ったことがない人に来てもらうことを目的とするものなので、今後少しでも拡げていただければいいと思っています。

(公募委員:鍋島委員)

この無料歯科健診カードの健診費用は、どなたが負担されているのですか。

(事務局)

歯科医師会のご厚意で、無料健診をしていただいているところです。

(公募委員:鍋島委員)

啓発のための無料歯科健診カードとの説明であります。受診に結びつかなければ効果が薄いと思います。このカードは、大人対象にしかみえません。無料との記載が一箇所小さい。カードから子どもがイメージできない。ローソンだけが配布場所になっているようですが、他のコンビニにもお願いしてはいかがでしょうか。ローソンのどこに置いてあるのでしょうか。歯科保健推進にご努力されていることは理解しております。

(事務局)

ローソンでの配布は、熊本市と連携協定を結んでおりますので、ご協力をいただいております。「無料」が見えづらいなど、そこについては改善を考えてまいります。今のところあまり受診されていない状況ですが、始まったばかりでこれから認知されていくものと思いますのでご了承いただきたいと存じます。対象者は、子どもから大人まで想定しております。

(議長: 歯科医師会宮本会長)

今後、配布先や配布場所をさらに検討される必要があります。

障がいについて状況が変わってきているなどご意見はないですか。

(手をつなぐ育成会:西委員)

カードデザインについてですが子どもに健診をすすめるのには違和感があります。また、政令市のなかで、熊本市はむし歯が多いとのことですが、その原因は、何でしょうか。また入所、通所の障がい者の方の口腔ケアは、大丈夫だと感じていますが、それ以外の在宅の方は、どうなっているのでしょうか。子どもさんが障がいを持っていても親はほんとに忙しいから施設にお任せしている。忙しい親のためにどうしていくかは課題と思っている。

(事務局)

むし歯が多い原因ですが、むし歯予防の対策として、妊婦や乳児への取り組みが、名古屋市では、2 歳児やムシ歯リスクが高い者対象にむし歯予防教室等のフォローを実施されており、浜松市では 2 歳児健診、川崎市では 1 歳児歯科健診など行われています。またむし歯がある子どもの特徴としては、おやつ回数が多かったり、食べる時間が不規則であったり、寝る時間が遅い、家族がタバコを吸っている、卒乳が完了していないなどの現状となっております。

(公募委員:鍋島委員)

平成 34 年度までにむし歯のない 3 歳児を 9 割にするとのことですが、大変厳しいと思います。また平成 24 年度から悪化したのは何故ですか。23 年度まではむし歯がある 3 歳児は 24% 止まりだったのに、それ以降は第 3 次基本計画を実施中であるにもかかわらず

ず、24%を上回ったまま（最良の H28 年度でも 24.1%）です。「H24 年度から 28 年度までの改善率は 3%（年平均 0.75%）ですので、このままでは良くて 80%前後の達成になると思います。

（事務局）

平成 24 年から政令市になりまして、平成 23 年途中から 3 歳児健診が、3 歳半健診となっております。受診時の年齢が高くなったことから有病率が高くなっております。

（公募委員：鍋島委員）

それでも平成 34 年度までにむし歯のない 3 歳児を 9 割にするとのことですが、現段階で 90%をクリアしている名古屋市に詳細に教えをこうのはどうでしょうか。

（議長：歯科医師会宮本会長）

事務局で参考にされますこと申し上げます。また資料に新潟市を添付しております。3 歳児までは、歯科に来ないので、産婦人科や小児科などと歯科医師会も連携して総合的に取り組んで参ります。

（看護協会：竹田委員）

無料歯科健診カードの問題、成果のあがっている都市の研究など私も同様に考えています。事務局が高校生向けの対策が一番難しいと言われていたが、看護協会は中高生向け性教育実施している。マニュアル改訂を予定しており、歯科保健の内容を掲載することになっているので、歯科予防保健に取り組むので、少しクリアにできるのではと考えています。また 2、3 年前から看護協会研修では介護職など高齢福祉施設の方など他職種で開催しております。子どものむし歯や肥満は、貧困家庭に通じているので不安もあります。またまだ熊本市のむし歯の状況が小児科などの専門職の方や母親などに認識されていないことにショックで驚いていますので、現状の周知・コマーシャルを図られること望みます。

（歯科医師会：高松委員）

追加資料として、熊本県の報道資料を配布しています。7 月 28 日にフッ化物洗口が熊本市を除く小中学校で 100%の実施となっておりますが、熊本市も進めていきたいと思っています。学校現場の状況としてお聞かせ願いたい。

（健康教育課）

各区の保健子ども課、歯科医師会のご協力をいただきながら、各学校に説明しているところであります。各学校で、子どもたちの実態、クラス、設備面等の問題があります。フッ化物洗口が、子どもたちのむし歯予防や、将来にわたって健康づくりは体づくりにつながっている意義は、充分認識しております。少しずつではありますが、環境の整った学校から広めていきたいと考えております。

（小中学校校長会：中富委員）

私自身は、学校でフッ化物洗口に取り組んでいますけれども、それぞれの学校の現状として事情があり、5 分確保することも、とても苦慮します。「学校の実態にあわせていいですよ」と各区保健子ども課さんから言っていただき、毎回、学校歯科医の先生や 8020 推進員のみなさんが来ていただいて手厚くしてもらい順調です。学校職員が準備したりすることもなく、見届けだけで負担にならない状況です。公衆衛生の立場から積極的に推進していくことは、良いことだと思いますが、先生の休み時間もないという学校現場の現状として、沢山の教育をする中で校長が手をあげて、うちが取り組みますというのは難しく、色々な環境が整ってから進んでいくものと思っています。県のように一斉に始まらず、徐々に広がっていくものだと思います。当初と比べて、フッ化物洗口の取り組みに関する抵抗感は、薄れているように感じます。また、各学校に一定数は、1 人の

子どもで何本も深刻なむし歯を持っている子どもがいます。家庭生活全体として多忙、ネグレクトなど問題を抱えており、フッ化物に対しての意識は高まっており、保護者の希望も多いのですが、各方面からや個別のアプローチが必要と思っています。

(議長：歯科医師会宮本会長)

学校現場の大変さは、報道等でもありますが、今後とも子どもたちのために継続的なお取り組みをお願いします。これまでの議論を踏まえて中山教授より、総括を含めてご意見をいただきたいと思います。

(副会長：中山教授)

多職種、多様な団体の方々との連携、意見を集めて草の根的に取り組んでいくしかないと思います。このよう議論を踏まえて、それが様々な現場に影響を与え少しずつ進んでいくものではないかなと思いました。

(議長：歯科医師会宮本会長)

ありがとうございました。

議題3 平成29年度熊本市歯科保健推進協議会における検討委員会の設置について
(事務局) — 議題3、資料4.5により説明 —

(議長：歯科医師会宮本会長)

事務局より提案のありました乳幼児期のむし歯予防についての検討委員会の設置について、委員名簿を配布され、検討委員会の内容も説明がありましたが、これでよろしいでしょうか。

(異議なし)承認をいただきました。

議題4 その他

(事務局) — 資料7により説明 —

(議長：歯科医師会宮本会長)

事務局の説明を受けまして、ご意見ををお願いします。

(歯科医師会:高松委員)

歯科保健基本計画が、平成34年で終了するのですが、その後も基本計画は、3本立てで継続することと理解してよろしいのでしょうか。

(事務局)

そのとおりです。

(歯科医師会:高松委員)

資料7【総合的な審議】3つある基本計画でダブっている(緑色の部分)は、どちらかを残して、どちらかを削るということでしょうか。

(事務局)

基本計画は、3本立てでいきまして、ご議論もしていただきますけれども、体制的には強化するために柱を歯科、食も含めて一体的に健康くまもと21で推進していくことで考えております。

(歯科医師会:高松委員)

資料7【総合的な審議】3つある基本計画でダブっている(緑色の部分)部分があっても、現状の計画のそれぞれは、変わらないということですね

(事務局)

ダブるといふ言い方をすると、二箇所同じ内容を検討するとなりますとやりにくい

と思いますので、議会でいいますと付託というイメージを持っていただきたいと思います。健康くまもと 21 には、歯科もありますが、他も全部あり、今回のような詳細な検討をしていただくのは無理なので、歯科や食については、専門性も高いので、名前は専門委員会とするかは、わかりませんが、より細かく現実的に計画を立て、評価をしていくのは、専門委員会で検討していただきまして、事業の推進のところについては、歯科だけではなく、他の分野との横の広がりや繋がりが必要でありますので、熊本市の健康づくりについては、健康くまもと 21 で行い、歯科と食は、専門性が高いので、専門委員会でより細かく検討していただくことをイメージしていただけたらと思います。

(公募委員:鍋島委員)

県の状況も悪いですので県とタイアップして、くまモンを活用して、歯みがきをする真似をしたりして、子どもたち向けに歯科保健の推進をされては、どうでしょうか。

(育成会:西委員)

フッ化物洗口を推進されているのでしたら、この協議会で提言書などをまとめて市長に提出されたらどうかと思います。8020 推進員さんたちボランティアなど協力で実施できている学校もありますが、ボランティアではなくて、地域の方への補助金などの制度で学校の負担も減らすなどの体制づくりも必要ではと思います。

(歯科医師会:高松委員)

大西市長はフッ化物洗口に大賛成で推進派です。学校現場はとても大変、市外とは児童数など規模が違う、無理強いはしないが推進している。一概にやりなさいとも言えない状況。

(議長：歯科医師会宮本会長)

ご意見ありがとうございます。行政も一生懸命考えられていると思いますが、今後ともよろしく願います。

(事務局) — むし歯予防全国大会の説明 —

(議長：歯科医師会宮本会長)

それでは、委員の皆さま慎重な審議をいただきありがとうございました。鍋島委員からもありましたとおり目標を掲げる以上は、達成しないといけないですから、残された時間は限られておりますし、スピード感を持っていきたいと思いますので、関係団体の皆様のご協力をお願いします。

以上を持ちまして議事を終了します。

7 閉 会